

# 秦野の今と未来を考える

第一号

発行：秦野市民の会 編集：藤田武士（工学博士） 詳細：裏面

## 「一部の人とその他の人」

多くの自治体では、一部の業界への利益誘導だけを目的とする議員が多数存在しているという指摘があります [1]。

秦野市は、どうでしょうか？ [1] 総務省による「地方自治法の抜本見直し」に関する意見募集

### 一部の人

☐ 長等・議員・職員

「長等・議員・職員への公費負担の引き上げ議案」の度重なる可決 [2]  
増え続ける一般職の部長級職員 (参事職以上 (7&8 等級))  
( 部長級職員数/ 一般職 (1~8 等級)の職員数 = 1/14 ) [3]

☐ 土建屋・地権者・補助金の受取り団体  
歳出の18%の費用 [4]

☐ etc [2] 秦野市慣行の「議会だより」(ネット閲覧可能な分)  
[3] 秦野市刊行の「各会計予算及び予算説明書 (R5)」P198 (再任用短時間勤務職員除く)  
[4] 秦野市刊行の「予算のあらまし (R4)」における歳出 (普通建設事業費、補助費等、その他費)

### その他の人

☐ 市民  
「水道料金・下水道料金・国民健康保険税の引き上げ議案」計二回の可決 [2]  
700億円の市債 [4]

このような秦野がイヤならば、

**「市民が税金の使い道を決める政治\*」**

**秦野でも実現させましょう！**

\* 福島県・会津若松市（2008年）、千葉県・我孫子市（2005年）、etc

作成日：2023/04/28